

Frasers Propertyによる初のJCR格付取得への助言及び サステナビリティ・リンク・ニンジャローン契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、Frasers Property Limited（以下「Frasers Property」）（※1）に対して、当社の株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）から初となる格付取得に関して共同格付アドバイザーとしてアドバイザリー提供（以下「本件」）しました。

JCRはFrasers Propertyに対してAA-（外貨建長期発行体格付）の格付を付与しており本件に際して、みずほ銀行はコーポレートファイナンスや格付アドバイザリーの幅広い経験を活かし、格付取得までの全体のプロセスを円滑に進め、シンガポールでの初のJCR格付アドバイザリーとなります。こうした格付取得の動きは、バーゼル3などの近年の銀行規制の動向に連動したものであり、日本円資金調達を検討する企業に広まってきています。

また、みずほ銀行は、Frasers Propertyが調達する「サステナビリティ・リンク・ニンジャローン」（※2、※3、以下「本件ローン」）の共同アレンジャー及びブックランナーに就任し、このたび、Frasers Property Industrial Australia Pty Ltd（以下「FPIA」）及びFrasers Property Treasury Pte Ltd（以下「FPT」）を借入人とするFacility Agreementを締結しました。

Frasers Propertyは当社が保有・運営する物件のグリーン認証を優先的に取得するとともに、Frasers Propertyグループ全体に対して国際的に認められたサステナビリティ・ベンチマーク・レーティングを取得するなど、サステナビリティへの取り組みを率先して行っています。また、当グループは2024年までに気候リスク評価を実施し、資産レベルでの気候適応策と緩和策の立案を実施、2050年までに脱炭素企業（ネットゼロ）となるという目標を掲げています。

本ローンでは、FPIAはSustainability Performance Target（SPT）を設定しており、最新のGlobal Teal Estate Sustainability Benchmarks（GRESB）レポートで5つ星評価を獲得する予定です。みずほ銀行は共同サステナビリティコーディネーターとして、SPTの設定支援をしました。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとして知見を活かし、サステナブルファイナンス・環境ファイナンス等による資金調達支援をはじめ、脱炭素化に向けた事業の強化・転換に資する助言やソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

＜案件概要：サステナビリティ・リンク・ニンジャローン＞

組 成 金 額：約 400 百万米ドル

契 約 期 間：5 年

※1 Frasers Property Limited (Frasers Property)：

Frasers Propertyは、国際的な不動産投資家・デベロッパー・アセットマネージャーであり、5つの不動産資産クラスにわたって2023年3月31日時点で約401億シンガポールドルの資産を管理しています。Frasers Propertyは、シンガポール、オーストラリア、英国、ヨーロッパ、タイ、ベトナム、中国で事業を展開しています。

※2 サステナビリティ・リンク・ローン：

借り手のCSR戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利などの借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進させ、支援することを目指すものです。

※3 ニンジャローン：

在日金融機関による本邦投資家をメインの対象とした非日系・非居住者向けのコーポレートシンジケートローンのことで、「サムライローン」とも呼ばれています。なお、「ニンジャローン」の名称は、みずほ銀行が米国等に商標登録しています。

以 上